

ら い 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 107 8月号

2014年8月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL(0791)62-0469

新宮図書館 TEL(0791)75-3332

揖保川図書館 TEL(0791)72-7666

御津図書館 TEL(079)322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>



携帯専用サイトへは、
左のQRコードから
(<https://www.lib015.nexs-service.jp/tatsuno-city/mobile/index.do>)

読書と私 No.99

「絵本だいすき」

御津町 八木 美千代

結婚して御津の住民となり、子どもが生まれてから御津図書館とのお付き合いが始まりました。元々本は好きでしたが、子どもが生まれるとなかなか小説など読む時間はなく、もっぱら子どもの絵本を借りていました。私自身も絵がきれいで夢のあるお話の絵本は大人になっても大好きで、絵本の読み聞かせは日課となりました。しかし、いくら絵本が好きでも、気分が乗らない日もあれば、毎日同じ本ばかり読ませこちら飽きてしまう日もあります。そこで女優さんになったつもりで、テレビドラマのセリフよろしく情感たっぷりに読んだりしましたが、子どもには大変不評で「普通に読んで」と言われてしまいました。またある時は、当時テレビで放映されていた「まんが日本昔話」の市原悦子風に読むと、「お母さんしんどいの？」と言われる始末。何とも程度の低い母親です。やはり普通に母の声で読むのが一番ですよ。

子ども2人は年齢が近かったので同じようなレベルで絵本を楽しむことができ、それぞれに役割を決めて登場人物になりきってごっこ遊びなどもよくしていました。こちらの「なりきり」は見ていてもかわいく、楽しい思い出です。

今は2人とも成人しましたが、私に似たのか絵本は好きで、私が図書館で借りてきた絵本を置いていると、必ず目を通してきます。いつまでも子どもの心を忘れない、ということ大変聞こえがよいですが、実はいつまでも中身が子どものままの親子であります。

『おいしいものつくろう』
(岸田 衿子 作 福音館書店)より

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『石井桃子の翻訳はなぜ子どもをひきつけるのか』 竹内 美紀 著 ミネルヴァ書房



石井桃子の業績は、児童書の翻訳、『ノンちゃん雲に乗る』などの創作、子どもの本の編集、家庭文庫による読書活動など、多岐にわたり偉大である。

本書では、日本の児童文学の土台を築いた石井の翻訳の特徴として、文体における「声」の重要性を指摘する。石井の200冊近い訳書は長い年月を経ても読み継がれ児童文学のひとつの理想形として支持されている。それは、わかりやすい言葉で目に見えるように生き生きと綴られ、子どもと共に読むことを意識し、声に出して読みやすく、耳に聞いて美しい。

石井はよく「おとなになってから、あなたを支えてくれるのは、子ども時代の『あなた』です」と口にし、子ども時代の生き生きとした思い出、つまり文字を知る前の「声の文化」の記憶が大切だと考えた。それは、アルバイト先の

犬養毅首相の子どもたちに『クマのプーさん』を語り聞かせた時の「あまりにも生き生きとクマのプーが日本語でしゃべり始めた」体験がきっかけだったが、アトリー、ポター、フェージョンなど「声の文化」を継承する作家の翻訳へとつながった。

また、祖父から昔話を聞いて育ち、文庫の読み聞かせで「主人公になりきって作品世界に入り込む」という子ども独特の本の読み方を理解し、子どもに語って、耳で聞いてわかる文体を作り上げた。

著者は、石井の翻訳が子どもをひきつけるのは、子どもたちに共通する「声の文化」の記憶を大切に翻訳したからだと述べる。

本書は、子どもが求めている「暖かい世界」を現出させた石井桃子の翻訳の特徴を、その生涯をたどりつつ「声を訳す」という視点で浮かび上がらせた労作である。

(揖保川図書館 大西)

トピックス 夏休みは図書館に行こう!!(後編) - イベントのご案内 -

※申込、問い合わせは各図書館まで

昆虫はかせになろう!

生きた昆虫や標本を見たり触ったりして
“むしはかせ”になろう

日時：8月10日(日)

午後2時～午後3時30分

場所：アクアホール3階研修室(揖保川図書館)

対象：小学生以上

定員：30名(要申込・先着順)

大上宇市と冬虫夏草

郷土の博物学者大上宇市による冬虫夏草に関する研究の
写真パネルや標本等を展示します。

展示期間：8月20日(水)～9月29日(月)

【記念講演会「大上宇市の博物学と冬虫夏草」】

日時：8月30日(土)

午後2時～午後3時30分

場所：新宮図書館

講師：奥澤 康正 氏(日本菌学会)

定員：40名(要申込・先着順)

合同読書会

龍野高校生と課題図書についての感想を話し合います

日時：8月5日(火)

午後2時～

場所：龍野図書館

課題図書：『永遠の0』百田 尚樹 著

定員：10名(要申込・先着順)

龍野北高校による木工工作教室

木のブロックを組み立てて、好きなカタチを作ろう!

日時：8月10日(日)

午後2時～

場所：龍野図書館

対象：市内在住小学4年生以上

定員：20名(要申込・先着順)

参加費：500円

夏期巡回ラジオ体操 特別早朝開館

ラジオ体操の後は新宮図書館へ!

体を動かしてすっきり目が覚めたら、

早朝の図書館でお気に入りの一冊を探してみませんか?

日時：8月25日(月) 午前6時30分から特別開館

おすすめする子どもの本・99

『ひとまねこざる びょういんへいく』

マーガレット・レイ 文 H.A.レイ 絵 光吉 夏弥 訳 岩波書店

知りたがりやのこざるのじょーじは、黄色い帽子のおじさんと一緒に暮らしています。ある日、机の上にあった大きな箱を勝手に開けてしまい、その中に入ったはめ絵のこまをキャンデーだと思って口の中に入れ、ごくりと飲み込んでしまいました。

次の朝、具合が悪くなったじょーじは、入院してお腹からこまを取り出す手術をすることになりました。じょーじは手術がどんなことをするのか知りたくてたまりませんでした。麻酔の注射をしたのですぐに眠くなり、目を覚ますと手術は終わっていました。

一晩経つとだいぶ気分もよくなりました。じょーじは誰も見ていないすきに車いすに乗りこみ、スピードをあげて坂になった廊下を下っていきました。車いすは大勢の人の中に飛び込み、じょーじは車いすから放り出されました。その様子を上で見ていた子どもたちが愉快そうに笑っています。今まで一度も笑わなかったべっちいも笑っ

ていたので、大人たちもつられて笑い出しました。

午後になっておじさんが迎えにきたので、じょーじは元気に帰っていきました。

じょーじが病院で起こす騒動にはらはらしつつも楽しい気持ちになります。鮮やかな色合いで描かれた挿絵が、物語を盛り上げます。読んであげるなら5歳くらいから。
(龍野図書館 井上)

『チム・ラビットのぼうけん』 A・アトリー 作 石井 桃子 訳 童心社

子うさぎのチム・ラビットは草刈場でハサミを見つけ、家にもって帰りました。

次の日、両親が出かけたあと、棚の上にあるハサミを降ろしたチムは、毛布やテーブル掛け、刺繍入りの青いカーテンを切り始めました。つぎに自分のお化粧にとりかかります。まずひげを刈込み、体の毛を刈りました。床に柔らかい茶色の毛がぼさぼさっと落ちました。絹のような毛をみてチムは嬉しくってしかたありません。軽くて、涼しくなった体で草刈場に飛んでいきました。

そこへバスケット一杯にお土産を持ってお母さんが帰ってきました。チムは「おか

あさんぼくだよ。」と笑って言いますが、お母さんは奇妙な白い動物がはねて、踊っているのをみると「ちがう、ちがう！あっちへいけ！」と家の中へ駆け込みました。チムは大きな涙を流しすすり泣きます。うちの中の毛をみてチムだったことに気づいたお母さんは戸を開けてやります。そして風邪をひいたチムに、チムの毛で糸を紡ぎ上着を作ってやりました。

幼いチムは好奇心旺盛です。雨降りの日、チムがきのこを傘にしてお母さんに持って帰り、ご飯やチムの靴になった話や、やせ細ったかかしを助けるために奮闘する話など、表情豊かに描かれたチムの話が9編入っています。8歳くらいから。

(新宮図書館 上田)



各館の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

館名	行事	対象(上段) ・ 時間(下段)	8月の予定
龍野図書館 TEL(0791) 62-0469	読書会	一般	8日
		第2金曜日(10時~11時30分)	『あの日、僕は旅に出た』 蔵前 仁一 著
新宮図書館 TEL(0791) 75-3332	●えほんのじかん	2~4歳児、保護者	11日・17日・25日
		第2・4月曜日、第3日曜日(11時~11時20分)	『かばくん』他
	■おはなしのじかん	5歳児~	9日・16日・23日・30日
		土曜日(11時~11時30分)	「王子さまの耳は ろばの耳」他
揖保川図書館 TEL(0791) 72-7666	●えほんのじかん	3~5歳児、保護者	9日・16日
		第2・第3土曜日(10時30分~10時50分)	『はなび ドーン』他
	■おはなしのじかん	小学生以上	9日・16日
		第2・第3土曜日(11時~11時30分)	「かちかちやま」他
	読書会	一般	22日
		第4金曜日(10時~12時)	『あ・うん』向田 邦子著
御津図書館 TEL(079) 322-1007	●えほんのじかん	0歳児~、保護者	10日・17日
		第2・第3日曜日(11時~11時20分)	『はちうえはぼくにまかせて』他
	読書会	一般	12日
		第2火曜日(13時30分~15時30分)	『夕映え天使』 浅田 次郎 著

『ぐりとぐらのかいすいよく』(中川 李枝子 作 福音館書店)より